

令和2年度政務活動費調査研究報告書

提出日 令和 2.5.12

事業名	学習会「地域の移動・外出支援の支え合いづくり」		
会派名	神奈川県ネットワーク運動	報告者	国兼 久子 (☎080-5539-5680)
参加者	国兼 久子		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	①4月1日(水) 午前10時～午前11時 30分	会場：南林間たすけあいセンター 主催：NPO法人全国移動ネット
	②	
	③	

目的 (どのような課題を解決するためかなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により社会参加や外出がしにくく、日常的な買い物をする場所も遠いため生活に困難を抱える高齢者が増えている。 ・免許を返納しても住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けるための身近なサポートを地域の互助でつくり出す必要がある。 ・総合事業などによる住民主体の移動・外出支援サービスを立ち上げた自治体の事例を参考に、本市での移動・外出支援のニーズにどう応えていくか模索する。
---------------------------	---

内容	<p>1. 学習会「地域の移動・外出支援の支え合いづくり」</p> <p>講師 さん</p> <p>NPO法人全国移動ネットコーディネーター</p>
----	--

成果等 (市に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年には第8期介護保険事業がスタートする。本市でもそれに合わせ介護保険事業計画(案)が策定される見込みである。介護保険事業の中の総合事業の補助金を活用し移動支援をしている事例が全国で広がる中、本市でも実現化に向けた提案ができるのではないかと。 ・本市の地域の移動・外出を支える交通手段としては、公共交通に加え交通空白地域での「のりあい」の運行やコミュニティバスの運行がある。しかし、バス停まで歩いていくことが困難であったり、運行本数が少ないため、往復に時間がかかると敬遠する高齢者も多い。単身高齢者は、離れて暮らす家族に遠慮し車を出して欲しいと言えない。このような課題解決に地域住民による地域の支え合い・たすけあいの互助活動で移動支援が行われている。 ・NPO法人全国移動ネットは、全国で市町村事業として移動支援事業の立ち上げ支援をしており、国が道路運送法における許可または登録を要しない運送の態様を認めているという話は参考になった。
--------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の総合事業には、多様なサービスとして訪問型サービスDがある。本市では一部の特養施設が担っているが、身近な地域で展開できるようになればいい。 ・地域でもニーズの高まりを受け、支援に動き出そうとしているところがある。団体に総合事業の補助金を入れられることを示し大和市に提案したい。 ・地域には気持ちはあるが、制度が分かりづらかったり、自家用車を使う場合の事故による保険の問題がネックとなっていることから、地域の支え合いを進めるためボランティアの背中を押す施策を求めたい。
事業費	<u>672円</u> (内訳：資料コピー代 420円、交通費 252円)

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

令和2年度政務活動費調査研究報告書

提出日 令和2年9月14日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	国兼 久子 (☎080-5539-5680)
参加者	国兼 久子		
区分	<input type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input checked="" type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	①9月 8日 (火) 午前10時00～午後0時	会場：大和市桜丘学習センター 104会議室 (大和市福田1丁目30-1) 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月議会報告を行い、一般質問の内容と行政側の答弁を報告した。 ・2019年度の会派政務活動費の資料を公開、報告し、市民からの質問に説明を行った。 ・地域からの課題を参加者と共有し、行政への提案、一般質問につなげ生活者視点での暮らしやすさを実現していく。 	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大和市議会6月議会報告 2. 2019年度 会派政務活動費の公開 3. 地域からの課題と提案 	
成果等 (市に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月議会の報告を通して、広く市政情報を伝えることができた。 ・政務活動費の用途については、ネット独自のルール(会派視察の際の手土産や夕食費は政務活動費で請求しないなど)があることを説明した。調査研究報告書に調査の意義や市政への反映等が詳細に記載されていることに市民から用途の透明性の理解を得られた。 ・大和市では、毎年9月以降、市のホームページでも前年度の政務活動費が会派ごとに一般公開されていること。領収書までも公開していることをお伝えした。県下でもここまでやっている自治体は少ないことから、大和市ではチェック機能が十分に働いているとの感想があった。 ・高齢者施設について、南林間圃場跡地に開所した特養施設(ほの里)の情報が欲しいとのご意見を頂いた。在宅介護が難しくなった90歳代の夫の父親にあった施設を探しているそうで、大和市の待機者数を気にしていた。 	

	<p>自分の経験から、大和市での施設見学と入所申し込みと並行して横浜市では第5希望まで一括して申し込みができる制度があることを紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護経験が豊富な他の参加者からは、介護が楽になるちょっとした工夫や助けられたサービスなどが紹介され参考になった。 ・あらためて介護保険制度ができたことによって、介護技術や機材が進化し福祉の社会化が進んだと感じた。制度改正ごとに給付制限が進まないよう提案していきたい。 ・コロナ禍、三密を避けながらこれからも報告会は地域ごとに行っていきたい。市政について意見交換できる機会を設けることで直接市民の声をいただくことができ、お互いに有意義な時間だった。
事業費	<p><u>1,200円</u> (会場費：1,200円)</p>

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること